2020 年 1 月 9 日

日本医学会分科会
理事長・会長　　殿
用語委員会委員　殿

日本医学会
医学用語管理員会委員長
脊山洋介
遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ
座長　辻　省次

遺伝学用語改訂に関するワーキンググループからのご報告

拝啓　時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます.

2017 年９月に日本遺伝学会が「遺伝単」を発行し，その中でなされたいくつかの遺伝学に関する用語の提案が，新聞報道で大きく取り上げられました．これらの用語は医学・医療のみならず，教育，社会等の幅広い分野と関連することから，日本医学会では，十分な検討のプロセスに基づき，コンセンサスを形成することが必要であると考え，2017 年 12 月に医学用語管理委員会の下に「遺伝学用語改訂に関するワーキンググリープ」(WG) を設置しました.

WG では今迄に９回の会議,「適切な遺伝学用語のあり方」をテーマとした公開シンポジウムの開催(2018 年 12 月)，分科会に対する 2 回のアンケートを実施し，検討を重ねてまいりました.

また，検討の過程の中で，2019 年７月に，日本学術会議から「高等学校の生物教育における重要用語の選定について（改訂)」の報告が公表されたことを受け，WG では日本学術会議との意見交換の場を設けて課題検討を行うとともに，今後の連携を進めること等を話し合いました.

このたび，WG より医学用語管理委員会に答申書が提出されましたので，ご協力をいただきました分科会の皆様にご報告させていただきます. 報告書に関するご意見等ございましたら 2020 年 2 月 10 日（月）までにお寄せいただけますと大変幸甚に存じます.

なお，用語の決定に関しては，分科会からのご意見ならびにパブリックコメントを経た上で，決定させていただく予定です.

末筆になりましたが，2 回のアンケートに関して，貴重なご意見をいただきましたことに，心より御礼申し上げます.

敬具

ご意見等の宛先
担当：日本医学会事務局　長門宏子
hnagato@po.med.or.jp